

私立認定こども園・幼稚園施設の耐震化対策 【こども家庭庁・文部科学省】

施策概要 地震により倒壊等の被害の生じる可能性がある学校施設等の耐震化を実施

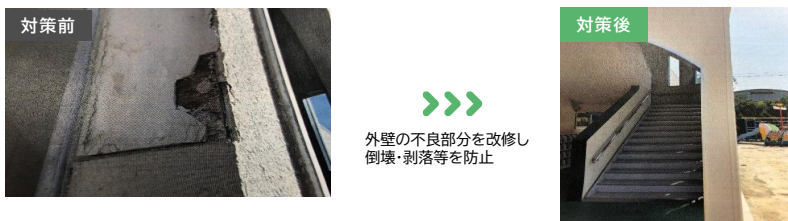
効果 園舎の耐震化により、地震から幼児や職員等の人命を保護

■ 全国的な対策と効果

対策1 園舎の構造体の耐震補強を実施(5,861棟の耐震化が完了)

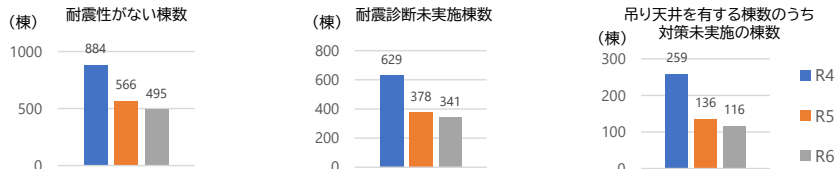


対策2 園舎の非構造部材の耐震対策を実施(778棟の耐震化が完了)



5か年加速化対策の効果

5か年加速化対策等により、耐震性がない棟数や耐震診断未実施棟数は減少傾向にある。また、非構造部材の落下防止対策も着実に進んでいる。



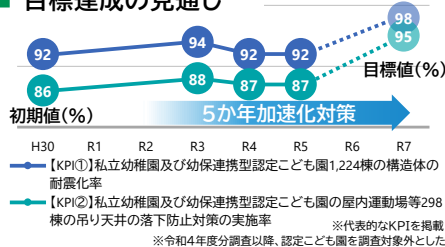
※令和4年度分調査以降認定こども園を調査対象外とした。 ※点検未実施の物や対策を一部未実施の物を含む。

■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
10億円	12億円	12億円
R6	R7	累計
13億円	13億円	60億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている
 ※ 令和5年度以降の予算額にはこども家庭庁計上分も含む

■ 目標達成の見通し



効果発揮事例

私立幼稚園における耐震補強等により、 幼児等の命を守る



学校法人石川学園



千葉県船橋市



日の丸幼稚園耐震補強工事

■ 幼稚園の耐震補強工事



筋交いを増設するなどの耐震補強工事を実施



令和3年千葉県北西部地震(震度5弱)で被害なし



■ 事業費

0.4億円 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.4億円)

■ 事業の背景(地域の課題)

千葉県船橋市日の丸幼稚園では、昭和33年度に建設した園舎を使用しており、耐震性能が基準を下回っていました。地震発生時に倒壊または崩壊する危険性が高く、幼児等の安全確保が懸念されていました。

■ 事業の内容

昭和33年度に建築された建物であり、IS値が0.2しかなく、耐震性能が基準を下回っていました。そのため、地震時にも継続して園舎を使用できるよう、筋交いを増設するなどの耐震補強工事を実施し、耐震改修促進法で求めているIS値0.6より強い1.4まで引き上げました。



整備中の様子

■ 効果

工事直後の令和3年10月7日に千葉県北西部で発生した地震では、船橋市で震度5弱を観測しました。耐震補強工事を実施した園舎では被害がなく、建物被害及び人的被害を防止しました。

(1)	1	人命・財産の被害最小化	激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
(2)	2	交通・ライフラインの維持	インフラの老朽化対策
(1)	3	施策のデジタル化	国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
(2)		災害関連情報の高度化	